

道徳の木(6月)

RZ. 6.30 文責: 清和中学校道徳担当 酒井健太郎

○ 今月の道徳授業の紹介です！

今年度は、道徳だよりを月に1回発行していきます。これから自分の生き方を見つめ、自分だけの道徳の木を育ててほしいという思いから、タイトルを「道徳の木」にしました。生徒の学校での授業の様子や、家庭道徳でいただいたコメントなどを紹介していきますので、ぜひご覧ください。

今月の授業を紹介します。今月は「社会参画・公共の精神」に関する授業を全学年で行いました。それぞれの授業で、友達や先生とのやり取りを通して、生徒一人一人が深く考えることができました。生徒の感想を各学年から1名ずつ紹介します。

1年 「楽寿号に乗って」	2年 「異国の方で生涯をささぐ」	3年 「加山さんの願い」
【生徒の感想】 自分は、特にボランティアをやったことがないので、一度でも自分から進んでやりたいです。	【生徒の感想】 今日の授業を振り返ってみると、僕はあまり誰かのために頑張った経験がないと思いました。もっと他の人にに対して思いやりをもちたいです。	【生徒の感想】 私は人とコミュニケーションをとるようなボランティアの経験はないけど、「相手に~してあげる」という姿勢は絶対に避けたいと思いました。

○ 6月27日(土)の授業参観で、全学年道徳の授業を公開しました！



生徒が話し合いの中で考え方を深めていく様子はいかがでしたでしょうか！？

○中学校3年間を通して育てたい22の心！

自分自身に関するこ

- 「自主、自律、自由と責任」
- 「節度、節制」
- 「向上心、個性の伸長」
- 「希望と勇気、克己と強い意志」
- 「真理の探究、創造」

他の人の関わり

- 「思いやり、感謝」
- 「礼儀」
- 「友情、信頼」
- 「相互理解、寛容」

集団や社会との関わり

- 「遵法精神、公徳心」
- 「公正、公平、社会正義」
- 「社会参画、公共の精神」
- 「勤労」
- 「家族愛、家庭生活の充実」
- 「よりよい学校生活、集団生活の充実」
- 「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」
- 「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」
- 「国際理解、国際貢献」

生命や自然、崇高なものとの関わり

- 「生命の尊さ」
- 「自然愛護」
- 「感動、畏敬の念」
- 「よりよく生きる喜び」



3年間の中学校生活の中で、授業や部活、行事などの学校生活を送りながら、生徒一人一人がこれらの22の心について深く考え、自分自身の生き方を見つけていってほしいと思います。

○ 家庭道徳の取組を紹介します！

休校期間中に、家庭での過ごし方を振り返る家庭道徳（自主・自律、自由と責任、節度・節制）に取り組んでいただき、生徒の振り返りにたくさんのコメントをいただきました。各学年から数名のコメントを紹介させていただきます。

- ・整理整頓、起床する時間が気になります。中学生になったので、親から言われてするのではなく、自ら進んで取り組んでほしいです。(1年生)
- ・家の手伝いをよくやってくれ、いつも助かっています。いつもありがとうございます！(1年生)
- ・生活面において、何かを頼んだ時に「後です」という返事が多かったように思います。学習面でも、親が「終わった？」と聞くまでもなく自分なりの計画通りに進められるように期待します。(2年生)
- ・多少リズムが崩れたようですが、後は自分で勉強したりご飯も作ったり家の手伝いを頑張ってくれたりしていました。(2年生)
- ・毎日、自分自身のことや家のことを助けて頑張ってくれています。(3年生)
- ・いよいよ学校が始まるので、休校分をしっかり取り戻してほしいです。頑張ってね！(3年生)

ご協力ありがとうございました！